

マルチメディアデイジー教科書 普及促進の取組

大阪市教育委員会
インクルーシブ教育推進担当

本日の内容

- 1 大阪市の特別支援教育について
- 2 マルチメディアアデイジー教科書
普及促進の取組について

1 大阪市の特別支援教育について

学校園数

令和元年5月1日現在

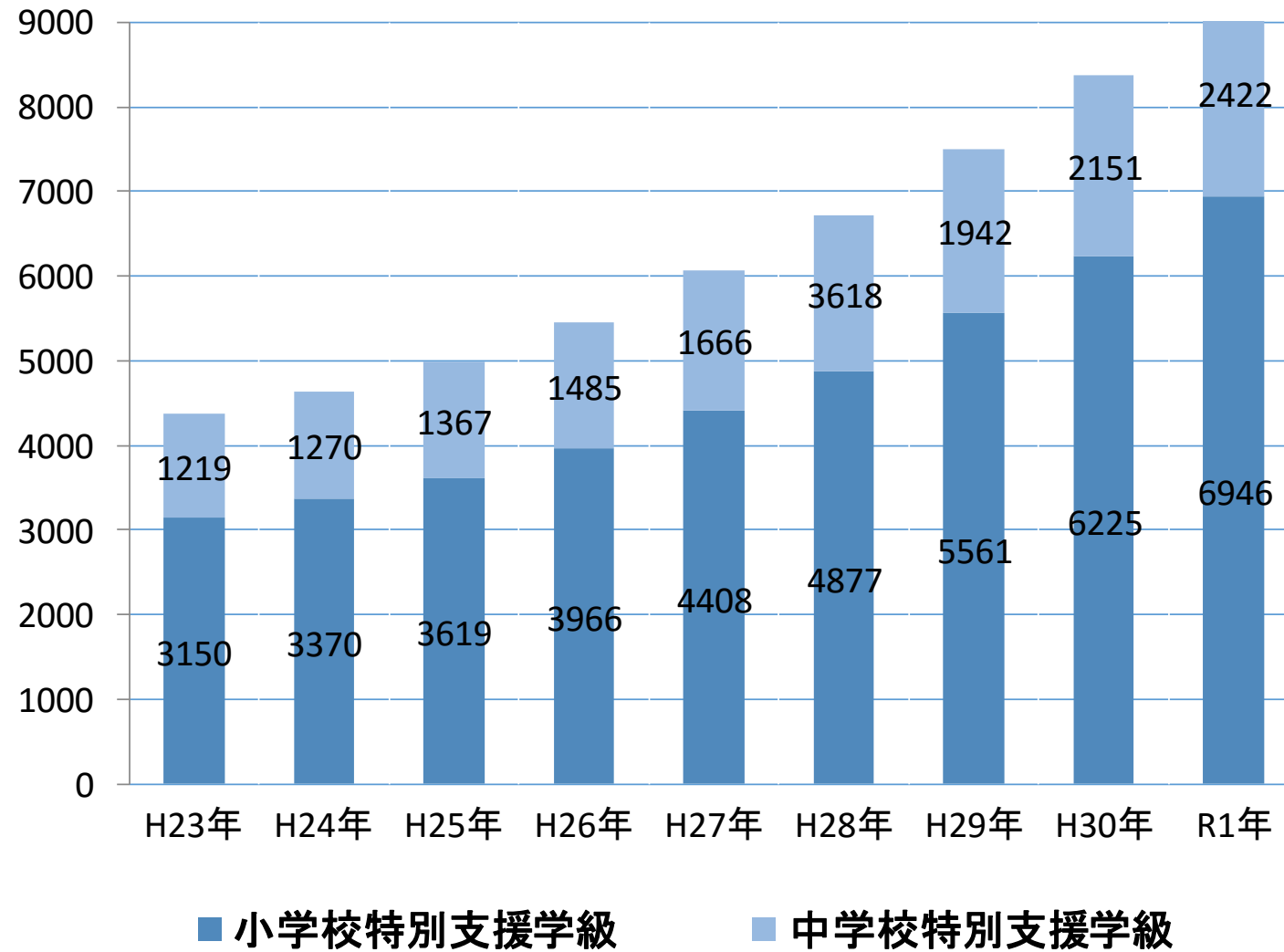
校園	校園数
幼稚園	54
小学校	289
中学校	130
高等学校	20
合計	493
※ 特別支援学校	平成28年4月に大阪府に移管

大阪市の特別支援学級数

令和元年5月1日現在

	小学校(289校)	中学校(130校)
弱視学級	18	12
難聴学級	29	16
知的障がい学級	446	180
肢体不自由学級	154	64
病弱・身体虚弱学級	156	83
自閉症・情緒障がい学級	622	202
学級総数	1,425	557
在籍総数	6,946	2,422

大阪市 小・中学校特別支援学級在籍数



「共に学び、共に育ち、共に生きる」 教育を推進

大阪市教育振興基本計画 (インクルーシブ教育システムの充実と推進)

- ① 「共に学び、共に育ち、共に生きる教育を推進する」
- ② 「自立し、主体的に社会参加できる力を養う」
- ③ 「個別の教育支援計画及び個別の指導計画の作成・活用を推進する」
- ④ 「一人一人のニーズに応じた適切な指導及び必要な支援のあり方を工夫する」



取組内容

- ・ 発達障がいを含む障がいに関する基礎的な知識及び理解の推進
- ・ 合理的配慮の観点をもとにした「個別の教育支援計画」と「個別の指導計画」の作成と活用
- ・ 校内支援体制の整備・充実
- ・ インクルーシブ教育推進室の機能充実

2 マルチメディアデイジー教科書 普及促進の取組について

LD (学習障害)

「学習障害とは、基本的には全般的な知的発達に遅れはないが、**聞く、話す、読む、書く、計算する**又は**推論する**能力のうち特定のものの習得と使用に著しい困難を示す様々な状態を指すものである。」

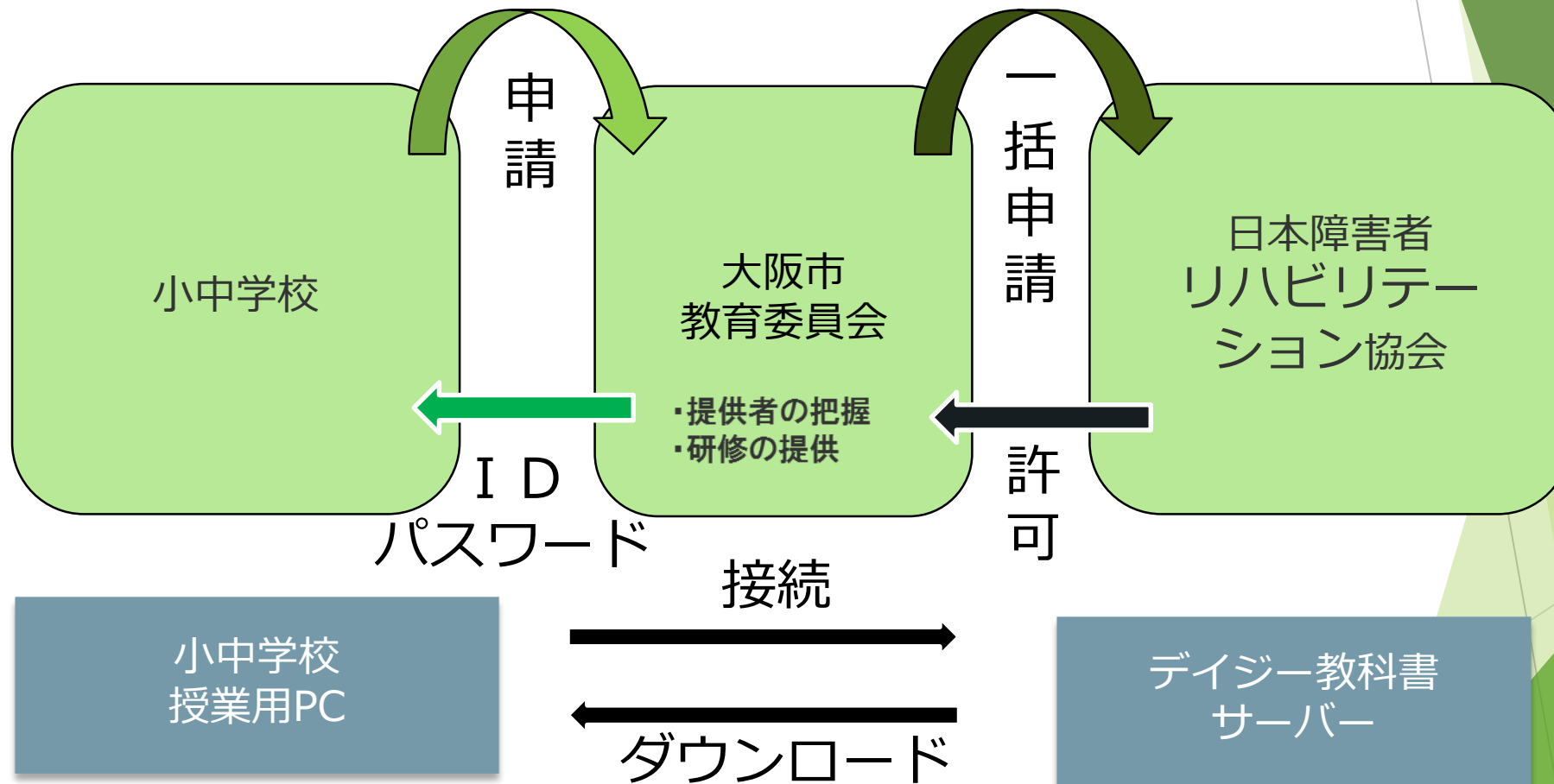
(文部科学省)



読みの困難さに対する合理的配慮

- ▶ 教科書にルビを打つ
- ▶ 代読する
- ▶ 定規をあてる
- ▶ スリットを使う
- ▶ 教科書の拡大コピーを使用する
- ▶ 付せんを使う
- ▶ **マルチメディアデイジー教科書の活用**

教育委員会による一括申請



申請 103校 482名 (令和元年8月末日現在)

申請書を記入

※黄色いセルに記入してください

(ICT様式007-02)

学校教育ICT活用事業

ソフトウェア追加申請書

授業用パソコン・タブレット端末にソフトウェアをインストールするための申請書です。1つのソフトウェアに対して1通、作成してください。
 学校長の承認後、SKIPポータル「メール」機能から「apply-ict@beenet.city.osaka.jp」宛に送付してください。

記入日 令和 年 月 日

■ソフトウェア種類

<input type="radio"/>	指導者用デジタル教科書
<input type="radio"/>	書画カメラ・電子黒板
<input checked="" type="radio"/>	マルチメディアデジ教科書
<input type="radio"/>	その他申請

※ソフトウェアの種類をいずれか一つ選択してください。
 ※ドライバ類のインストールの場合は「その他申請」を選択してください。
 ※DVD-ROMを再生するだけの教材の場合は申請不要です。
 ※インストール作業は各校にてお願いいたします。

■申請者情報

市費校園コード(6桁)	
学校名	
校長(承認者)名	
送信者名	

【メール送信時の注意事項】

必ず、校長先生または教頭先生の個人メールからメール送信をお願いします。
 組織メール(gxxxx@city-osaka.ed.jp)からの申請は受けられません。

■ソフトウェア追加を実施する担当者情報

正担当者氏名		個人ID	
副担当者氏名		個人ID	

※個人ID欄には、skipポータルにログインする時のIDをご記入ください。
 ※個人IDは gkf+6ケタ または gk+7ケタ です。(例: gkfxxxxxx 又は gkxxxxxxx)

■デジタル教科書申請

会社名	年度	学年	教科	台数	メディア	端末番号

※記入欄が足りない場合は、必要な分だけ欄を挿入してお使いください。

■書画カメラ・電子黒板申請

※FAQ(授業用パソコンやタブレット端末でご利用可能なUSB Webカメラ・書画カメラについて)に掲載されている書画カメラ、電子黒板以外は、別途USB許可が必要なため、情報教育グループまでご相談ください。

機器の種類	会社名	製品名	ソフトの種類	台数	端末番号

※記入欄が足りない場合は、必要な分だけ欄を挿入してお使いください。

■マルチメディアデジ教科書申請

ソフト名	インストールする端末番号	対象児童生徒(イニシャル)	対象学年	主な読みの困難さを記入
デジボード5.0				
デジボード5.0				
デジボード5.0				
デジボード5.0				

※記入欄が足りない場合は、必要な分だけ欄を挿入してお使いください。

例: 飛ばし読みをする。漢字が読めない。

参考例にならって

正担当者	担当者名	大阪 二郎	個人ID	gkf123456
副担当者	担当者名	大阪 三郎	個人ID	gkf234567

■ソフトウェアに関する情報 ※記入方法がわからない場合は、本申請書の記入例をご確認ください。

ソフト名	インストールする端末番号	対象児童生徒（イニシャル）	対象学年	主な読みの困難さを記入
デジボッド3.1	GMS-159875PN	N R	1	ひらがなが読めない
デジボッド3.1	GMS-369782PN	O M	3	飛ばし読みをする
デジボッド3.1	GMS-258987PN	S T	5	3年生以上の漢字が読めない
デジボッド3.1				
デジボッド3.1				
デジボッド3.1				

5 6 7 8 9

1. 教科書を読むことが困難な児童生徒が在籍していることを確認しましたか？	はい
2. インストールに必要なハードディスクの容量と現在の空き容量を確認しましたか？ (デジボッドはおよそ65Mです。ダウンロードするコンテンツ（教科書）は、出元ごと20M～40M程度です)	はい

10

■注意事項

利用条件

- ・ 通常学級、特別支援学級に在籍する、読みに困難さがある児童生徒。（障がい者手帳の有無は要件ではない）
- ・ 授業用パソコンに 再生ソフトをインストールすることができる。



	申請	許可	ソフトのインストール	ダイジー教科書データのダウンロード	その他
小学校 中学校	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申請書をインクルーシブ教育推進担当に送付。（利用者イニシャル、学年） 	<ul style="list-style-type: none"> 希望があれば、学校から対象児童生徒保護者に学年ごとのIDとパスワードを付与 	<ul style="list-style-type: none"> 自宅の端末に、リハ協HPから再生ソフト(ダイジーポッド5)をインストール ・ 管理者権限を使用し、再生ソフト(ダイジーポッド5)をインストール 	<ul style="list-style-type: none"> ・ IDとパスワードを活用し、必要な教科・単元の教科書をダウンロード 	
コールセンター (学校ICT事業者)		<ul style="list-style-type: none"> ③ ④ 教員への管理者権限付与 	<ul style="list-style-type: none"> ⑤ 	<ul style="list-style-type: none"> ⑥ 	
インクルーシブ教育推進担当	<ul style="list-style-type: none"> ② 申請受理 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 申請書を確認後、IDとパスワードを小・中学校に付与 ・ 説明書を添付 			<ul style="list-style-type: none"> ・ 研修会実施 ・ 年度末評価
日本障害者リハビリテーション協会 (リハ協) ホームページ					
教科書提供サーバー (リハ協)			<ul style="list-style-type: none"> ・ 「ダイジーポッド5」 ・ 「ダイジーポッドジュニア5」 		

ID・パスワードの発行

学校/学年IDと初期パスワード

学校種別	学校名	用途	ID	パスワード	備考
中学校	■■中学校	校内用	●●●●	▲▲▲▲	教職員のみに使用
		小学1年用	◆◆…	★★…	学年用ID・パスワード 家庭用PC・タブレット等で使用可
		小学2年用	◆◆…	★★…	
		小学3年用	◆◆…	★★…	
		小学4年用	◆◆…	★★…	
		小学5年用	◆◆…	★★…	
		小学6年用	◆◆…	★★…	
		中学1年用	◆◆…	★★…	
		中学2年用	◆◆…	★★…	
		中学3年用	◆◆…	★★…	

学校のみで使用

学年用ID・パスワード

家庭用PC・タブレット等で使用可

- 各学年用IDとパスワードについて
 児童・生徒が、自宅で使用する場合にお使いください。
 各学年用IDとパスワードは、その学年の教科書のみダウンロードできます。
 在籍学年よりも下学年の教科書は必要に応じて使用可能ですが、上学年の教科書は使用しないでください。
- 利用報告書について
 年度末に利用報告書ファイルを送信します、入力作成をお願いします。

学年用 I D ・ パスワードの発行

- ・ 日本障害者リハビリテーション協会の協力で発行
- ・ 家庭の P C ・ タブレット等で利用可能
- ・ 家庭からの申請不要

★保護者の負担軽減による利用促進

インストール手順書の作成

平成31年4月9日版

Windows版デイジーポッド5手順書

インクルーシブ教育推進担当

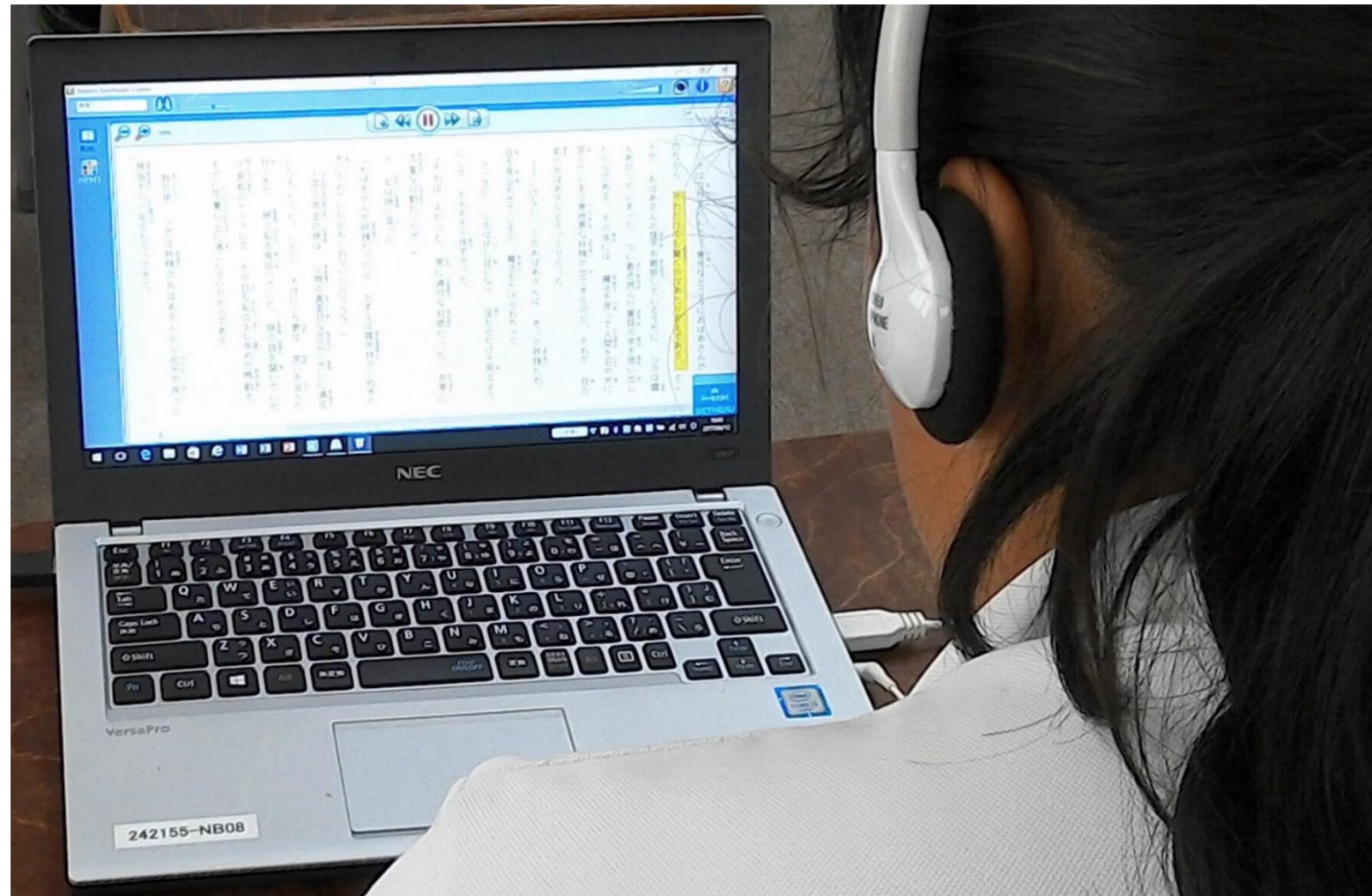
注意) 管理者あるいはインストール権限のあるアカウントで行ってください。権限のないアカウントの場合、アクセス権に関するダイアログが表示され実行できませんのでご注意ください。

1. 管理者権限でログインしてください。(gkf●●●●●●で始まるIDとパスワード)
※「SKY MENU」ログイン画面が出れば、「SKY MENU」にもログインする。



★ログイン後、デスクトップ上の「デイジーポッド3, 1」のアイコンをゴミ箱へ移してください!

特別支援学級で



事例①（個別の実践）

対 象：小学5年生

状 態：入学直後から読み書きが苦手なので学習が遅れる

診 断：4年生のときに医師の診断を受ける

テスト：スクリーニングテストの結果（STRAW-R）

- カタカナの音読の正確性に課題
- 漢字の音読の正確性に課題
- 音読の流暢性に課題

教 科：国語（注文の多い料理店）

学習スケジュール

- ▶ 放課後を中心にデイジー教科書を使って集中的にトレーニング（15分～30分）

活動スケジュール

- ・場 所： 児童が下校したあとの教室
- ・指 導： 特別支援学級の担当教員
- ・教 科： 主に国語（予習）
- ・目 的： 内容の理解
- ・その他： デイジーの使用日は音読の宿題はなし

指導の流れと結果

【指導の流れ】

- ①全文再生（形式段落ごと）
- ②内容把握（質問形式）
- ③部分音読（デイジーと同時）
- ④内容把握
- ⑤一人読み（段落ごとに）
- ⑥授業

【結 果】

- ・読むことへの抵抗感が減った。
- ・文のまとまりで読めるようになってきた。
- ・漢字が読めるようになった。
- ・授業の時にもすらすら読めるようになってきた。
- ・本人自身が、自信がついてきた。

事例②（教室での実践）

- ▶ クラス：小学4年生（32名）
- ▶ 教科：国語（ごんぎつね）
- ▶ 対象：読みに困難のある児童（9名）
- ▶ 目的：内容の理解
- ▶ 方法：読みに困難のある児童のうち希望者は、ディスプレイの前に並びハイライトに合わせて読む
- ▶ その他：ノートパソコン+ヘッドフォンで一部使用（1名）
- ▶ 結果：皆と同じ教室で声を出して読めていた



その他のソフトウェアの活用例

- **音声読み上げ Word アドイン「WordTalker」**

Word の文章をハイライトしながら音声で読み上げさせることができる有料の Word のアドイン (追加ソフト) です。

- **Office Lens**

紙の文書やホワイトボードに書かれた文章をスマートフォンやタブレットで撮影して、PDF や Word にしたり、OneNote や OneDrive に保存することが簡単に行えます。

- **特別支援教育での PowerPoint 活用**

プレゼンテーションソフト PowerPoint (パワーポイント) を使った、文字を学習する教材や、学習や生活の困難を助けるツールとして活用する方法があります。

デイジー教科書による成果

学校・家庭での利用で…

- 単語の区切りがわかるようになり、音読がスムーズになった。
- 音声で記憶した内容が思い出しやすかった。
- 教科書の内容理解がすすんだ。
- 教科書を開く意欲が出てきた。
- 教室で皆と一緒に音読ができた。

教育委員会の一括申請による効果

家庭での利用で…

- 個人での申請が不要
- 教科ごとの教科書選択が不要
- 学校と近い環境で学習が可能

課題

- 実践事例の共有
- 活用した児童生徒の効果検証
- 使いやすさ
- タブレット端末での使用

まとめ

(音声教材を有効に活用するために)

- ▶ 他の子どもと異なる教材や教室での使用への理解
- ▶ 実態把握
 - ①チェックリストや学力検査の結果より検討
スクリーニングテストの実施
読み書きのアセスメント方法として、代表的なものとしては、STRAW（ストロウ）、
URAWSS（ウラウス）、標準読書力診断テスト等（平成30年度音声教材普及推進会議）
 - ②個別の心理検査
- ▶ 専門家による巡回相談の利用
- ▶ 保護者の理解と協力
- ▶ 音声教材の特性の理解
- ▶ 活用事例などの情報収集

ご清聴ありがとうございました。